



● 想定入居者・暮らしの提案 ●

異世代共生型ホームシェア ～お互いの欠けたピースを埋める～

一人暮らしの高齢者が持つ「余剰空間」と「生活の知恵」。
下宿学生が求める「安価で安心な住まい」と「地域との接点」。
これらを共用土間キッチンを介してつなぎ、家族でも単なる同居人でもない現代の隣人関係を構築する。
共用土間キッチンを中心に、日々のあいさつや何気ない会話が自然に生まれる。
それぞれの個室で自分の時間を大切にしながら、必要なときにはゆるやかに支え合うことで、
家族未満、お隣さん以上の新しい関係性を育む住まいを目指した。

【属性】70代 女性
【世帯】単身（夫とは別居）
【収入】国民年金・遺族年金

- ・階段や段差が負担
- ・買い物や重い荷物運びに苦勞
- ・大家から孤独死の不安
- ・日常の会話が減り、寂しい

【属性】女子大学生
【世帯】単身（実家は遠方）
【収入】学生奨学金・アルバイト

- ・家賃を抑えて生活したい
- ・いきなり一人暮らしが不安
- ・地域の人と関わりたい

高齢者

- ・家事や暮らしの知恵
- ・手作り料理の提供
- ・人生の相談相手
- ・安価な家賃での提供

共通のメリット

- ・心理的安心感
- ・経済的負担の軽減
- ・孤独死の防止
- ・異世代交流による刺激

学生

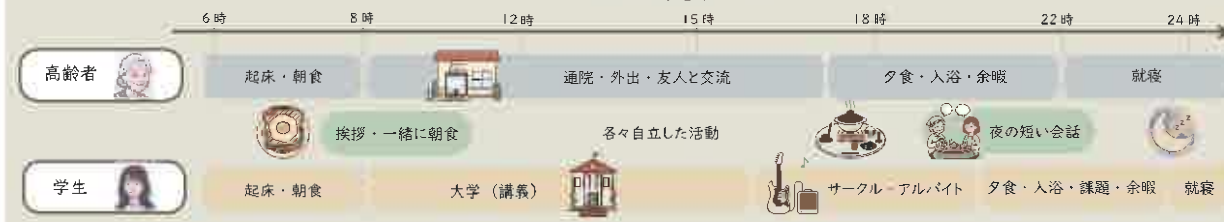
- ・買い出しの代行
- ・重い荷物運び
- ・デジタル機器の操作支援
- ・日常の話し相手

● 運営・管理の仕組み ●

京都ソリデール事業を参考に、本提案の平屋ホームシェアへ置き換えた運営・管理のイメージ



● 一日の流れ ●



● 平面プラン ●

ゆるやかにつながる住まいの構成
底層のスペースを活かして開放的な空間を創出。中央の食事室・台所が交流の中心となり、各住居の個室とつながる。明るく、開放的な空間を創出する。ゆるやかにつながる住まいの構成。

A 可変する収納BOXチェア
収納BOXチェアで土間を広く使い、来客時は椅子や机に変えて交流を促す。

B 家事動線を短くした水回り計画
高齢者が家事をしやすように、キッチン・水回りを北東側にまとめ、家事動線が短縮されるよう配慮。

C 自分らしく過ごせる個室
有孔ボードの壁面収納で限られた空間を有効活用し、趣味の小物を飾れる、自分らしく過ごせる個室とした。

平面図

● 立体イメージ ●



● その他の工夫・配慮 ●

改修コストと実現性への配慮

既存柱・梁を維持
主要構造を活かし、大規模改修を抑える

室配置の維持
平屋の構成を活かし、間仕切り変更を最小限に

水回りを集約
既存設備の位置を活かし、配管工事の負担を抑える

住み継がれる住居
学生が数年単位で入れ替わり、長く多くの暮らしを支える

暮らしやすさと安心を求める工夫

記憶を受け継ぐ素材
型板ガラス・格子戸・ラタンを細部に取入れ、高齢者が慣れ親しんだ質感を継ぐ

プライバシーと防犯
個室を対角配置し、音と視線に配慮するとともに、土間には防犯のため、人感センサー照明を整備

環境に配慮
採光・通風を積極的に取り入れ、昼間の照明負荷を低減。断熱補助や内窓の追加も検討可能

細部の使いやすさ
滑りにくい床材、手入れしやすい仕上げを採用。足元灯廊下を照らし、夜間も安心